

事務事業マネジメントシート(令和 5年度実績と令和 6年度計画)

令和 6 年 8 月 26 日 更新

事務事業名		合志市民祭り実施事業				☐ マニフェスト関連 ☐ 全庁横断課題関連 ☐ 集中改革プラン関連			
総合計画体系	政策	1	自治の健康			所属部	産業振興部	課長名	榮 峰男
	施策	1	市民参画によるまちづくりの推進			所属課	商工振興課	担当者名	大茂 竜二
	施策の柱	2	地域づくり(まちづくり)活動機会の確保			所属班	商工振興班	(内線)	5215
予算科目		会計一般	款 7	項 1	目 2	事業連番 11435	根拠法令		
終了、開始年度		☐ 5年度で終了 ☐ 5年度から開始				事業期間	☐ 単年度のみ ☒ 単年度繰返 (開始年度 23 年度) ☐ 期間限定複数年度 (~ 年度)		

★事務事業の概要 (PLAN)

【事業の内容】	従前より市民祭りとして、合併初年度から実施してきた。平成30年度はウエルネスシティこうしが行う「ウォーキング大会」との同時開催とした。令和元年度(平成31年度)は、公募型プロポーザルによる事業者選定を経て、熊本県農業公園カントリーパークにおいて「令和元年度合志市民まつり」を開催している。 令和2年度と新型コロナウイルス感染症拡大の影響により市民祭りを中止している。 令和3年度については、令和2年度同様、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、市民祭りの開催を中止しているが、代替事業として、e-スポーツ大会、市民参加型の体験イベントを開催した。 令和4年度は、公募型プロポーザルによる事業者選定を経て、熊本県農業公園カントリーパークにおいて「令和4年度合志市民まつり」を開催した。 令和5年度は、公募型プロポーザルによる事業者選定を経て、熊本県農業公園カントリーパークにおいて「令和5年度合志市民まつり」を開催した。
【業務の流れ】	1. 公募型プロポーザル 2. 候補事業者選定 3. 業務委託施行伺 4. 見積徴取 5. 契約締結 6. 関係機関(受託者、関係課、施設管理者、警察署、出演者、出店者等)協議、 7. 広報(広報こうし、市ホームページ、チラシ配布等) 8. 来賓等案内、 9. 祭りの実施・監督、 10. 完了検査、 11. 委託料支払い
【主な予算費目】	節8 報償費、節13 委託料
【意見や要望】	市民まつりとしての定着化の必要性について意見がある。

1 現状把握の部 (DO、PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標		新規・拡充区分
① 手段(主な活動) 5年度実績(5年度に行った主な活動)(DO)	6年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN)	
公募型プロポーザルによる事業者選定を経て、業務委託し、熊本県農業公園カントリーパークにおいて「令和5年度合志市民まつり」を開催した(参加者数:11,174人)。市役所職員によるPRブースや自衛隊車両等の展示、合志市エコまつりと共催、市商工会や市内事業者の飲食ブース、創業支援キッチンカーなどを配置し、市をPRすることができた。また、ステージでは市民団体によるショーなどで会場を盛り上げ、来場者を楽しませることができた。成果として、昨年度の来場者は上回らなかったものの、洗滞トラブルや事故、苦情など1件もなく午前午後の来場者の入れ替わりも円滑に行うことができた。特に家族連れの子供たちについては、園内スペースでテントを張るなど1日ゆっくりと楽しむ様子が見受けられ、市民の余暇を充実したものにすることができた。	市民参加型イベントやステージイベント、地元事業者出店イベント等を通じて、市民の交流促進及び健康増進を図り、市の代表的なイベントとして定着を図る。	
① 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位)	予算の主な増減の理由
→ ア 実施事業者への補助金交付、又は受託者等への委託料など費用支出	円	時間外勤務手当の単価が下がったことによる減
② 対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等	(単位)	② 対象指標(対象の大きさを表す指標)
市民(二次的には市外住民)	人	→ ア 祭りへの来場者数
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	(単位)	③ 成果指標(意図の達成度を表す指標)
(市民) ⇒ 健康を意識し活動に取り組む。	人	→ ア ウォーキング大会への参加者数
(健康都市こうし) ⇒ 市民に定着する。	人	→ イ 各アトラクション参加者数
*③成果指標設定の理由と 6年度目標値設定の根拠		総トータルコスト
市内外からの来場者に喜ばれる祭りとして良い評価が得られるかを指標とした。		全体計画
		~ 年度
		0

(2) 各指標・総事業費の推移		単位	3年度実績(決算)	4年度実績(決算)	5年度目標(当初予算)	5年度実績(決算)	6年度目標(当初予算)	7年度予定	8年度見込	9年度見込
① 活動指標	ア	円	8,339,155	7,998,000	8,000,000	7,994,751	8,000,000	8,000,000	8,000,000	8,000,000
	イ									
② 対象指標	ア	人	1,750	12,537	15,000	11,174	15,000	15,000	15,000	15,000
	イ									
③ 成果指標	ア	人	0	0	0	0	0	0	0	0
	イ	人	0	1,500	1,500	1,100	1,500	1,500	1,500	1,500
投 入 費 量	財 源 内 訳	国庫支出金	千円	2,000						
		都道府県支出金	千円	3,990						
		地方債	千円		200	1,190				
		その他	千円							
		繰入金	千円							
	(A) 事業費計	一般財源	千円	2,373	7,866	8,066	6,832	8,078	8,070	8,070
		(A) 事業費計	千円	8,363	8,066	8,066	8,022	8,078	8,070	8,070
		(A)のうち指定経費	千円	0	0	0	0	0	0	0
	(B) 人件費計	(A)のうち時間外、特勤	千円	0	0	0	0	0	0	0
		正規職員従事人数	人	5	2	5	4	4	4	4
		延べ業務時間	時間	959	210	0	538	300	300	300
トータルコスト(A)+(B)			千円	12,112	8,865	8,066	9,981	9,273	9,265	9,265

事務事業名	合志市民祭り実施事業	所属部	産業振興部	所属課	商工振興課
-------	------------	-----	-------	-----	-------

2 評価の部（CHECK）

*原則は5年度の事後評価、ただし複数年度事業は5年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	① 5年度目標達成度評価	☐ 達成した ☒ 達成しなかった ⇒【原因】 コロナが5類に移行して初めての開催となり、11,174人が参加した。他イベントが増えたため、昨年度の参加者を上回らなかったものの、渋滞トラブルや事故、苦情など1件もなく、午前午後の来場者の入れ替わりも円滑に行うことができた。特に家族連れの来場者については、園内スペースでテントを張るなど1日ゆっくりと楽しむ様子が見受けられ、市民の余暇を充実したものにすることができた。
	② 6年度目標達成見込み	☒ 目標達成見込みあり⇒【理由】 ☐ 目標達成は厳しい⇒【理由と対策】 市民をはじめ、来場者に1日楽しんでもらえる内容としたい。来場者数に関しては気候、天候、内容の影響もあるが、新型コロナウイルス感染症拡大の動向を注視し、目標来場者数の検討を行っていく。
有効性評価	③ 成果の向上余地	☒ 向上余地がある ⇒【理由】 ☐ 向上余地がない ⇒【理由】 会場、駐車場、周辺道路等の容量等を考慮して、より多くの市民が安全に楽しめる祭り実施を目指したい。
	④ 類似事業との統廃合・連携の可能性	☐ 他に手段がある（具体的な手段、事務事業） ☐ 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 ☐ 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 ☒ 他に手段がない ⇒【理由】 合志市全体のまつりであるため、類似事業はない。内容について変えることは可能だが、それに対しては内容が定着しないという意見もある。
効率性評価	⑤ 事業費の削減余地	☒ 削減余地がある ⇒【理由】 ☐ 削減余地がない ⇒【理由】 まつりをどのような内容にするかにより、経費削減できる可能性はあるが、同時に祭りの魅力も小さくなる恐れはある。
	⑥ 人件費（延べ業務時間）の削減余地	☐ 削減余地がある ⇒【理由】 ☒ 削減余地がない ⇒【理由】 主催団体への補助、又は業務委託により最小限の人数で行っているため削減の余地は無い。
公平性評価	⑦ 受益機会・費用負担の適正化余地	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☒ 公平・公正である ⇒【理由】 全市民を対象とした取り組みであるため公平である。
役割分担評価	⑧ 行政の役割分担の適正化	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☒ 役割分担は適正である ⇒【理由】 役割分担は適切である。

3 評価結果の総括（CHECK）

--

4 今後の方向性（事務事業担当課案）（ACTION）

(1) 今後の事業の方向性（改革改善案）・・・複数選択可 ☐ 廃止 ☐ 休止 ☐ 目的再設定 ☐ 事業統廃合・連携 ☐ 事業のやり方改善（有効性改善） ☐ 事業のやり方改善（効率性改善） ☐ 事業のやり方改善（公平性改善） ☐ 現状維持（従来通りで特に改革改善をしない）	(2) 改革・改善による期待成果 （廃止・休止の場合は記入不要） <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持																					
	低下																					
(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題（壁）とその解決策																						